

混沌とした中から

日本版SOX法について (5)

全般統制ですが、これはハードウェアやネットワークの運用管理、ソフトウェアの開発・変更・運用・保守・セキュリティ、システムの導入などを対象としています。ビジネスの継続性を確保すればどうすればいいかといった観点から、バックアップやディザスタリカバリ(自然災害などで被害を受けたシステムを復旧・修復すること)体制の整備とユーザ認証、アクセスログやネットワークログの監視、ファイルや回線の暗号化など、情報漏洩や不正侵入を防ぐインフラの整備が求められます。情報システム情報システムを外部に運用を委託している場合は、その外部委託業者も内部統制の対象となり得ます。このとき、外部委託業者は顧客に対してサービスレベル保障(SLA: Services Level Agreement)やオペレーションプロセスの透明性を提供しなければなりません。次に業務処理統制ですが、これはアプリケーションに組み込まれた内部統制を示しています。つまり承認されたトランザクションデータが全て正確に処理・記録されることを担保(保障)することを意味します。これには入力データの多重チェック機能や網羅性を確保するための合計値照合、正当性を確保するための限度チェックなどが求められます。このような機能の無い情報システムの場合、新たに組み込むことは企業にとって大きな負担となりますが、このような機能を階層化してユーザインターフェースとシステムの間に設置し、チェックキングツールのみをRBMS(Rule Based Management System)で統合管理する仕組みが有効となります。

内部統制を導入しなければならないとなると、どうしても法令順守を念頭において対策を進めてしまうことがありがちです。しかし、内部統制、日本版SOX法の本来の目的がどこにあるのかを考えなければなりません。本来内部統制の目的は「企業価値の向上」であるはずですが、最初にも書きましたが、元はアメリカで発生した粉飾決済による倒産事件に対する反省から、会計不祥事やコンプライアンの欠如を防止するためのものです。企業はこの日本版SOX法対策を契機として「攻めの経営」をするためのITインフラを整備するといった姿勢が必要です。具体的に何をすればいいかわからないというのではなく、企業として何をやっているかを隅々まで十分に把握し、起業として補償できるようなシステムを構築するにはどうすればよいかといった観点で考えれば必然として実施しなければならないものがはっきりしてくるのではないのでしょうか。つまり、言われたこと、法律に合わせるのにはどうすればいいのではなく、きちんとした管理、保障できる企業を風土として構築すればおのずと内部統制、日本版SOX法に対応できるということが出来ます。例えばデータの入力のチェックですが、その機能がある場合でもどうしても完全なものまで組み込まれていないものです。それはコストの問題がある場合もありますが、これまでであれば「ここまででいいだろう」や「こんなデータを入れることは無いだろう」といった考えで組み込まれなかったものがあります。またログにしても、有ればいいことがわかっているにもかかわらず組み込まれていなかったり、メモリや記憶容量の制限などから簡単なものだけになっているものがあります。有ったらいいのはわかっているにもかかわらず入ってなかったり、中途半端だったりしています。そのようなものを組み込んで整備しようというのが内部統制に対する1つの対応策です。これまでは中途半端だったものをきちんとしよう、きちんと後から何があってもそのときの状況がわかるように管理できるようにしようとするものです。あやふやだったり、人間関係でやっていたものを文書化してはっきりさせていこうとするためのいい機会と考えることが出来ます。(次回へ続く)

(今週の情報誌から)

○日経エレクトロニクス 3月12日号

特集 テレビ+YouTubeの未来

→これまでテレビはテレビ放送やビデオを見るもの、WWWサイトはパソコンで見えるものであったが、いよいよWWWサイト上の映像コンテンツがリビングのテレビに本格的に進出してきた。インターネット上の映像配信サービスの1つが「YouTube」。インターネットを含む映像配信メディアはデジタル家電の普及とともにどこへ行くのか。

○日経パソコン 3月12日号

特集 複合機120%活用術

→年賀状印刷だけではもったいないプリンタ。特にこのごろは複合機が当たり前。複合機で何ができるか。写真のコピーはもちろん修整もできるし、PDFに変えたり、WordやExcelに変換したりすることができる。

特集 パソコンで楽しむ最新ロボット

→2足歩行、ボールをけったり起き上がったり、多少高いがそんな最新ロボットがキットで買える。そんなロボットで楽しんでみては。。